



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3151 URL <http://www.vitalksk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 泰介
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 高橋 喜春 (TEL) 022-218-6155
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	152,081	6.9	1,418	317.3	2,366	82.0	1,624	75.0
28年3月期第1四半期	142,272	7.7	339	△57.8	1,300	△49.6	928	△54.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 2,800百万円(58.6%) 28年3月期第1四半期 1,766百万円(△21.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	28.83	24.83
28年3月期第1四半期	16.60	14.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	321,792	87,158	26.9
28年3月期	327,047	85,261	25.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 86,630百万円 28年3月期 84,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	16.00	24.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	313,000	9.2	2,230	124.8	4,100	43.6	2,800	44.7	49.68
通期	616,000	△0.8	4,800	△30.4	8,500	△19.7	5,800	△11.5	102.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示、(3) 追加情報」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	61,224,796株	28年3月期	61,224,796株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	4,868,414株	28年3月期	4,868,414株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	56,356,382株	28年3月期1Q	55,914,613株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策等により、景気は緩やかな回復基調が続いておりましたが、英国が国民投票でEU離脱を決めた影響により急激な相場変動が起こるなど、海外経済が先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主たる事業である医薬品卸売業界におきましては、国の医療費抑制策により平成28年4月の薬価改定で7.8%の薬価基準の引下げが行われました。今後も薬剤費の抑制政策は継続されることが予想されます。

このような中、当社グループでは、平成29年3月期から平成31年3月期までの3年間にわたる第3次中期経営計画をスタートいたしました。まず当社は、第3次中期経営計画に先立ち、10年後に目指す姿としての長期ビジョンに、「医療・介護を支える商品やサービスを戦略的に提供することにより、地域・コミュニティのヘルスケアになくはない存在となる」ことを掲げました。そして、当該長期ビジョンの下、第3次中期経営計画の中期ビジョンとしては、「1. ジェネリック医薬品80%時代においても、利益を創出できる体制を構築する」「2. 医介連携ビジネスの基盤を整備し、地域のヘルスケアに深耕する」の2つを定めました。さらに、当該中期ビジョンを実現するため、4つの基本方針「1. 効率的・効率的グループ経営の実践によるグループ総合力の発揮」「2. 常に生活者視点を重視したエリアマーケティングの推進と更なる深耕」「3. ヘルスケア・コーディネーターの育成・定着」「4. 医療・介護分野でのソリューションカンパニーの実現」に取り組んでまいります。

当連結累計期間の業績につきましては、売上高152,081百万円（前年同期比106.9%）、営業利益1,418百万円（前年同期比417.3%）、経常利益2,366百万円（前年同期比182.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,624百万円（前年同期比175.0%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医薬品卸売事業

医薬品卸売事業におきましては、予てよりカテゴリーチェンジによる長期収載品の販売減少が続いておりましたが、平成28年4月の診療報酬改定におきましても、更なるジェネリック医薬品使用促進策が打ち出され、当連結累計期間におきましても長期収載品の販売減少が続いております。そのような状況の中、当社は新薬創出・適応外薬解消等促進加算制度の対象品や新製品（先発品）、とりわけ前期に爆発的な売上を記録したC型肝炎治療薬等の新薬の販売に注力いたしました。また、利益面では、一部のメーカーでの共同仕入による利益の獲得に努めるとともに、カテゴリーチェンジへの的確な対応として単品単価による納入価交渉にも注力してまいりました。さらに、主要な事業子会社（㈱バイタルネットと㈱ケーエスケー）では、営業戦略システム「VKマーケティング」により、得意先別営業損益状況を基にした営業戦略を実行し、収益力の維持・向上に引き続き努めるとともに不採算先の取引改善交渉にも注力してまいりました。その結果、売上高は、144,540百万円（前年同期比107.1%）、セグメント利益（営業利益）は、1,427百万円（前年同期比494.1%）となりました。

② その他事業

その他事業におきましては、動物薬卸売事業が好調に推移したものの、診療報酬改定の影響等により調剤薬局事業の業績が不調だったため、売上高は、7,540百万円（前年同期比103.8%）、セグメント損失（営業損失）は、29百万円（前年同期は29百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末から5,255百万円減少し、321,792百万円となりました。内訳は流動資産215,255百万円及び固定資産106,537百万円であります。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金30,239百万円、受取手形及び売掛金137,452百万円、たな卸資産30,609百万円及び未収入金14,966百万円であります。なお、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が3,497百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が10,679百万円減少したこと等により、流動資産が8,643百万円減少しております。

固定資産の内訳は、有形固定資産38,506百万円、無形固定資産7,916百万円及び投資その他の資産60,115百万円あります。なお、前連結会計年度末に比べ土地が2,358百万円、投資有価証券が1,753百万円増加したこと等により、固定資産が3,388百万円増加しております。

負債は前連結会計年度末から7,151百万円減少し、234,634百万円となりました。内訳は流動負債203,515百万円及び固定負債31,119百万円あります。

流動負債の主な内訳は、支払手形及び買掛金192,609百万円、1年内返済長期借入金2,244百万円及び賞与引当金2,663百万円あります。なお、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が4,447百万円減少したこと等により、流動負債が5,985百万円減少しております。

固定負債の主な内訳は、転換社債型新株予約権付社債10,035百万円及び退職給付に係る負債6,520百万円あります。なお、前連結会計年度末に比べ繰延税金負債が435百万円増加したものの、長期借入金1,211百万円及び負のれん184百万円が減少したこと等により、固定負債が1,165百万円減少しております。

純資産は前連結会計年度末から1,896百万円増加し、87,158百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益1,624百万円の計上、その他有価証券評価差額金1,205百万円の増加及び配当金の支払いによる901百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,741	30,239
受取手形及び売掛金	148,131	137,452
たな卸資産	30,338	30,609
未収入金	16,715	14,966
その他	2,347	2,342
貸倒引当金	△375	△354
流動資産合計	223,898	215,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,210	15,915
土地	17,615	19,974
その他(純額)	2,716	2,615
有形固定資産合計	36,542	38,506
無形固定資産		
のれん	4,538	4,479
その他	3,601	3,436
無形固定資産合計	8,139	7,916
投資その他の資産		
投資有価証券	47,423	49,176
その他	12,243	12,036
貸倒引当金	△1,200	△1,097
投資その他の資産合計	58,466	60,115
固定資産合計	103,149	106,537
資産合計	327,047	321,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	197,057	192,609
短期借入金	1,350	1,320
1年内返済予定の長期借入金	1,044	2,244
未払法人税等	2,984	760
賞与引当金	1,823	2,663
その他の引当金	240	220
その他	5,001	3,697
流動負債合計	209,500	203,515
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,037	10,035
長期借入金	2,236	1,025
その他の引当金	177	179
負ののれん	2,210	2,026
退職給付に係る負債	6,622	6,520
その他	11,001	11,332
固定負債合計	32,285	31,119
負債合計	241,786	234,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,702	12,702
利益剰余金	46,413	47,136
自己株式	△3,722	△3,722
株主資本合計	60,394	61,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,939	23,144
退職給付に係る調整累計額	2,428	2,368
その他の包括利益累計額合計	24,367	25,513
非支配株主持分	499	527
純資産合計	85,261	87,158
負債純資産合計	327,047	321,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	142,272	152,081
売上原価	132,049	140,606
売上総利益	10,223	11,474
返品調整引当金戻入額	178	240
返品調整引当金繰入額	178	220
差引売上総利益	10,223	11,495
販売費及び一般管理費	9,883	10,076
営業利益	339	1,418
営業外収益		
受取利息	35	35
受取配当金	198	211
負ののれん償却額	184	184
持分法による投資利益	32	32
受取事務手数料	358	367
その他	188	157
営業外収益合計	996	988
営業外費用		
支払利息	11	9
賃貸費用	21	17
複合金融商品評価損	—	11
その他	3	1
営業外費用合計	36	40
経常利益	1,300	2,366
特別利益		
固定資産売却益	3	1
貸倒引当金戻入額	27	20
受取補償金	57	7
その他	0	0
特別利益合計	87	29
特別損失		
投資有価証券評価損	—	15
その他	3	8
特別損失合計	3	23
税金等調整前四半期純利益	1,384	2,372
法人税等	441	717
四半期純利益	942	1,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	928	1,624

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	942	1,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	820	1,048
退職給付に係る調整額	△48	△54
持分法適用会社に対する持分相当額	51	151
その他の包括利益合計	823	1,145
四半期包括利益	1,766	2,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,751	2,770
非支配株主に係る四半期包括利益	14	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	135,008	135,008	7,263	142,272	—	142,272
セグメント間の内部売上高又は振替高	965	965	656	1,621	△1,621	—
計	135,974	135,974	7,920	143,894	△1,621	142,272
セグメント利益	288	288	29	317	21	339

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、調剤薬局業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額21百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	144,540	144,540	7,540	152,081	—	152,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,339	1,339	652	1,991	△1,991	—
計	145,880	145,880	8,192	154,073	△1,991	152,081
セグメント利益又は損失(△)	1,427	1,427	△29	1,397	20	1,418

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、調剤薬局業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額20百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。